

鹿島区子どもの遊び場建設について

1. これまでの経過

市では、震災後、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から屋外活動が制限されたこと、放射線の心配から子どもの外出を控える家庭があったこと、長引く仮設住宅での生活などによる生活習慣の変化などにより、低下した子どもの体力の向上と肥満傾向の改善を目的として、平成26年3月、原町区に大型遊具を設置する全天候型子どもの遊び場「わんぱくキッズ広場」を整備した。

子どもの遊び場については、本市の子どもの肥満状況の改善や体力の向上をより一層推し進めるとともに、各地域（区）の子どもたちが楽しく、のびのびと安全に遊べる環境を提供するため、各区に1つずつ整備することとする。

【整備計画】

地区	整備時期	整備内容
原町区	H25年度（整備済）	全天候型、人工芝床、遊具設置
鹿島区	H27年度	全天候型、人工芝床、遊具設置
小高区	H28～29年度	小高区復興拠点施設の子どもたちの居場所づくり機能：屋内遊び場として整備

2. 鹿島区子どもの遊び場整備事業の概要

- (1)目的 震災後、低下した子どもの体力の向上と子どもが楽しくかつ安心して遊ぶことができる環境を確保するとともに、鹿島区の子育て環境の充実を図るため、鹿島区に子どもの遊び場を整備する。

- (2)事業期間 平成27年10月～平成28年3月（完成）

(3)事業内容

- ①建設場所 鹿島区鹿島字北千倉地内（千倉体育館南側砂利駐車場）

- ②施設仕様 全天候型子どもの遊び場
 ・面積：800㎡
 ・床面：人工芝
 ・大型遊具設置(アンケート結果による選定)
 ・防犯カメラ設置

- ③事業費 344,990千円
 (内 訳)

倉庫解体工事費	14,256千円
実施設計・工事監理委託費	19,969千円
建物工事費	280,811千円
遊具設置費	29,954千円

※ 6月補正にて、全ての経費を委託料に組み替え、公募型プロポーザル方式による一括発注を行う。

(4)スケジュール（予定）

H27. 4月	・ 駐車場利用状況調査 ・ 鹿島幼稚園園児・鹿島小学校児童の保護者への説明
H27. 5月	・ 遊具アンケートの実施（鹿島区内小学校、幼稚園、保育園）
H27. 7～8月	・ プロポーザルによる公募
H27. 8月	・ 業者決定
H27. 9月	・ 仮契約締結、工事請負費（委託料）の議会上程
H27. 10月	・ 本契約締結
H27. 10月～H28. 3	・ 実施設計、ボーリング調査、倉庫解体工事等
	・ 建物・遊具・外構工事等
H28. 3月	・ 子どもの遊び場条例改正の議会上程 ・ 完成（4月供用開始）

(5)整備後の運営管理

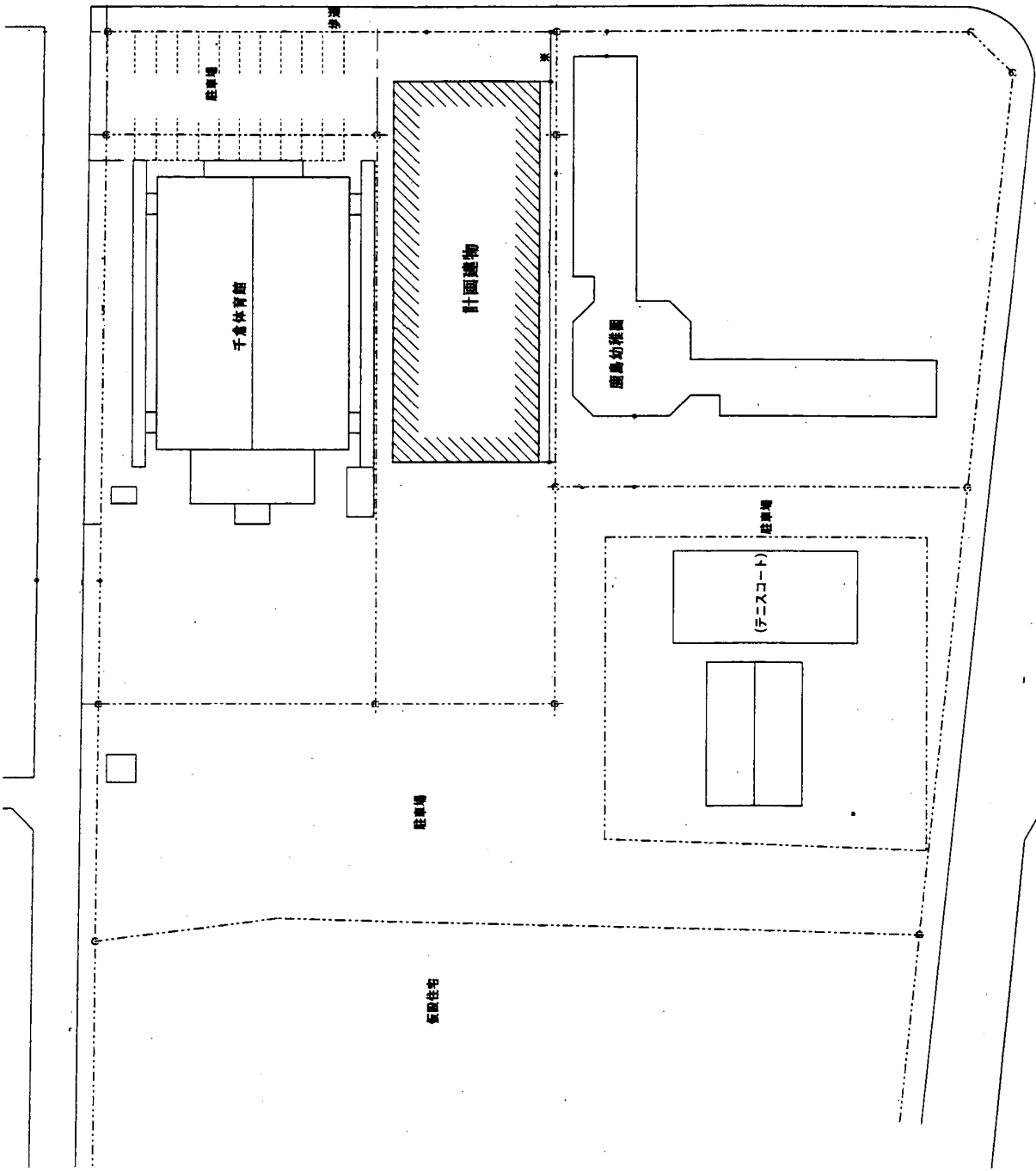
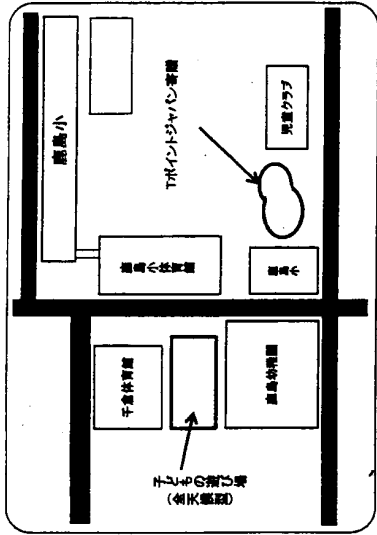
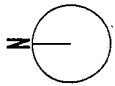
①運営管理体制 市直営管理、原町区の「わんぱくキッズ広場」と同様、常駐職員は配置しない

②施設運営管理費 年間約1,000千円
 （内訳）光熱水費 240千円
 通信運搬費 156千円
 下水道使用料 24千円
 委託料 160千円
 修繕料 420千円

(6)利用人数 平成28年度（4月～3月）見込14,000人
 【参考：「わんぱくキッズ広場」H26.4～H27.3利用者：38,864人】

3. 子どもの遊び場と他の施設の比較

施設	主な利用対象					利用状況など
	未就学児	（低学年） 小学生	（高学年） 小学生	中高生	大人	
公園	○	○	○	○	○	・雨が降ると遊べない
体育館			○	○	○	・スポーツ施設であり、小学生の一般的な利用は、概ねスポーツ少年団に入る小学校4年生以上
Tポイント・ジャパン寄贈 「みんなの遊び場」 (幼児向け)	○	○				・砂場のある屋内遊び場 ・親子での来場を想定
全天候型 子どもの遊び場 (幼児・小学生向け)	○	○	○			・雨の日でも遊べる遊具のある施設



27共第303号
平成27年5月27日

南相馬市鹿島区地域協議会
会長 五賀 和雄 様

南相馬市長 桜井勝延



鹿島区子どもの遊び場建設について（諮問）

地方自治法第202条の7第2項の規定により、下記の事項について貴地域協議会の意見を求めます。

記

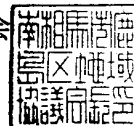
1. 鹿島区子どもの遊び場建設について



27鹿地協第4号
平成27年5月27日

南相馬市長 桜井勝延 様

南相馬市鹿島区地域協議会
会長 五賀和雄



鹿島区子どもの遊び場建設について (答申)

平成27年5月27日付け27共第303号で諮問のありました鹿島区
子どもの遊び場建設について、当地域協議会の意見は下記のとおりです。

記

鹿島区子どもの遊び場建設については妥当であると判断します。